

海で咲くイボヤギ



皆さんはイボヤギを知っていますか。イボヤギはオレンジ色で、黄色い花が咲いたようなキサンゴの仲間です。花のように見えるところはポリプと呼ばれ、えさが流れてくるとポリプは触手を開き、えさを捕まえます。しかし、えさが流れてこない、触手は骨格のなかに入り込んでしまいます。

イボヤギの仲間は、浅い海に生息する造礁サンゴとは異なり、少し暗い岩陰などに生息します。

水族館では、このイボヤギを20年以上前から展示しています。当初はなかなかポリプが開かなかったのですが、細かくしたアミエビを水槽に入れることにより、いつでもポリプが開いたきれいな姿を見ることができるようになりました。また、えさも十分に捕れるようになり、水槽内に繁殖しました。その結果、平成8年に日本動物園水族館協会よりイボヤギの繁殖賞を受賞しました。また、イボヤギと同じ仲間のオオエダキサンゴも平成10年に同水槽で繁殖し、繁殖賞を受賞しました。それ以降も水槽内で繁殖を繰り返し、現在も展示水槽で飼育しています。

一見地味で動きのない無せきつい動物ですが、花のように美しい生き物です。長年水槽内で繁殖し、長生きをしているイボヤギを、是非一度見に来てください。

元気っ子しゅうごう

掲載希望は
広報戦略係まで

あいり
愛莉ちゃん
(1歳)



パパ・ママより

横山勲さん、緑さん
(道場山町)

手をつなぐことが大好きな愛莉ちゃん。そこから伝わる温もりと一緒にパパとママは幸せを感じているよ。これからも明るく元気に楽しく過ごそうね。

さら
紗良ちゃん
(1歳)



パパ・ママより

横井英二さん、智江さん
(堀方町)

姉妹仲良く、すくすく大きくなってね。元気いっぱいदैくいしん坊な二人が大好きだよ!!

めい
芽依ちゃん
(3歳)

のあ
希愛ちゃん
(6か月)



パパ・ママより

沢田伊武城さん、穂乃花さん
(天神町)

最近声を出すのが上手になってお話できてるみたいで嬉しいよ。これからたくさん笑って話してパパとママを笑顔にしていね。